



カトリーヌ10世
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は人間観察とコスプレ。
好きな飲み物はモンラッシエ。
日本ではほとんど知られていない、
ある小国の女王とのウワサも!?

説法でしたでしようか。

マイケル・マン監督の映画「フェラーリ」は、そんなエンツォのターニングポイントを描きます。時は1957年、愛息を亡くし、愛人との婚外子認知問題に悩み、業績不振により会社が破産寸前という公私の窮地から、起死回生をかけてイタリア全土1000マイル総断の公道レース、ミツレミリアに挑むという崖っぷちの59歳。銀髪にしたアダム・ドライバーが熱演します。

エラーリー。ひとことつぶやくだけで、脳内に薔薇が舞います。あのスーパー・カーの官能的な美しさが後ろ姿にあるのは、女性の後ろ姿を本能的にチェックする傾向をもつイタリアン・マチスモが背景にあるからでしょう。

イタリア的な男っぽさのことが、自信に満ちた態度や野心が間違つた方向へ行くと独裁者ムッソリーニを作ってしまいます。しかしそこにエレガンスが加わると、エンツォ・フェラーリを生むのでしょうか。「フェラーリ」社の創業者にして、F1界の帝王として君臨したオールドマンです。

04

Lifestyle

男たちよ
目覚めなさい

イラスト／ユリコフ・カワヒロ

野蛮で優雅な マチスモの引力に 目覚めなさい

イタリアの風景のなかに繰り広げられる緊迫のレースが見ドコロであるのはもちろんですが、メンズファッシュションの迫力に目を見張ります。1957年は、メンズスーツがもつとも華麗なツイードのスーツや、淡いグレースーツに差しはさまれるベールイエローのニットベスト、サスペンダー、アイウエアにいたるまで。フィアットの会長、ジャンニ・アーネッリも、シャツカフスの上から時計を着用するという伝説のスタイルでチラッと登場します。

彼らのスタイルは、ジエンダーフリーが浸透する現代人にはともすれば時代遅れに見えるでしょう。しかし、野蛮と紙一重のマチスモを覆い隠す優雅の極みだからこそ抗えない色気というのが確かに存在します。女性の後ろ姿よりも窓に映る自分の髪をチェックする男性が増えた時代だからこそ、マチスモが秘める力の可能性に、ほんの少しだけ「目覚めてもよい」かも。

あ、本誌読者のみなさまには釈迦に説法でしたでしようか。